

参考資料 平成13年度委員会名簿

以下に示す名簿は、特に注記のない限り平成14年3月31日時点のデータで作成した。
ただし、本年度中に廃止された委員会については、廃止された時点のデータで作成した。

1 ① 判定委員会 (平成14年3月31日付 任期満了。)

役名	氏名	所属	備考
委員長	外間寛	中央大学	
副委員長	内田博文	九州大学	
委員	池間誠	一橋大学	
〃	石川啓	関西大学	
〃	大島晃	上智大学	
〃	大西有三	京都大学	
〃	近藤博之	大阪大学	
〃	佐々木嬉代三	立命館大学	
〃	佐藤登志郎	北里大学	
〃	白井克彦	早稲田大学	
〃	鈴木典比古	国際基督教大学	
〃	西川一	大阪工業大学	
〃	西林良博	東京大学	
〃	樋口龍雄	東北大学	
〃	樋口美雄	慶應義塾大学	
〃	船本弘毅	東京女子大学	
〃	前出吉光	北海道大学	
〃	茂木俊彦	京都立大学	
〃	茂里一紘	広島大学	
〃	山本眞彰	筑波大学	
幹事	石井彰三	東京工業大学	
〃	関塚正司	九州大学	
〃	塚越幹郎	東京理科大学	
〃	中林一樹	京都立大学	
〃	野村稔	早稲田大学	
〃	日高克平	中央大学	

以下の大学審査分科会並びに専門審査分科会は平成14年3月31日付で廃止。

(1) 大学審査分科会 (第一群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	石川啓	関西大学	
〃	大島晃	上智大学	
〃	八田英二	同志社大学	
〃	樋口美雄	慶應義塾大学	

(2) 大学審査分科会 (第二群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐々木 嬉代三	立命館大学	
〃	岩瀬 悉有	関西学院大学	
〃	鈴木 典比古	国際基督教大学	
〃	外間 寛	中央大学	

(3) 大学審査分科会 (第三群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	西川 一	大阪工業大学	
〃	池間 誠	一橋大学	
〃	近藤 博之	大阪大学	
〃	茂木 俊彦	東京都立大学	

(4) 大学審査分科会 (第四群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	前出 吉光	北海道大学	
〃	佐藤 剛	札幌医科大学	
〃	佐藤 登志郎	北里大学	
〃	林 良博	東京大学	

(5) 大学審査分科会 (第五群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	茂里 一紘	広島大学	
〃	内田 博文	九州大学	
〃	船本 弘毅	東京女子大学	
〃	村上 勝彦	東京経済大学	

(6) 大学審査分科会 (第六群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	山本 眞一	筑波大学	
〃	大西 有三	京都大学	
〃	白井 克彦	早稲田大学	
〃	樋口 龍雄	東北大学	

(7) 教育学系第1専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	茂木俊彦	東京都立大学	
〃	佐伯・	青山学院大学	
〃	水内・	千葉大学	

(8) 教育学系第2専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	近藤博之	大阪大学	
〃	石黒宣俊	愛知教育大学	
〃	森茂岳雄	中央大学	

(9) 文学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	岩瀬悉有	関西学院大学	
〃	大宮勇雄	福島大学	
〃	鳥居邦朗	武蔵大学	

(10) 文学・外国語学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	大島晃	上智大学	
〃	佐藤滋	東北大学	
〃	高山信雄	大正大	

(11) 外国語学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	東谷穎人	神戸市外国語大学	
〃	桑田禮彰	駒澤大学	
〃	田部・	明海大学	

(12) 人間学系第1専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	今田寛	関西学院大学	
〃	岩崎庸男	筑波大学	
〃	米川茂信	淑徳大学	

(13) 人間学系第2専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	山崎美貴子	明治学院大学	
〃	高橋道子	東京学芸大学	
〃	本間道子	日本女子大学	

(14) 国際学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	松濤誠達	大正大学	
〃	相良憲昭	京都ノートルダム女子大学	
〃	田久保忠衛	杏林大学	

(15) 法学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	内田博文	九州大学	
〃	金子征史	法政大学	
〃	鴨野幸雄	金沢大学	

(16) 経済学系第1専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	樋口美雄	慶應義塾大学	
〃	福尾洋一	関西学院大学	
〃	松浦昭	神戸商科大学	

(17) 経済学系第2専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	池間誠	一橋大学	
〃	國村道雄	名古屋市立大学	
〃	辻正重	青山学院大学	
〃	増田壽男	法政大学	

(18) 経済学系第3専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	村上勝彦	東京経済大学	
〃	小林昭	金沢大学	
〃	陶山計介	関西大学	

(19) 経営学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	八田英二	同志社大学	
	柴田悟一	横浜市立大学	
	二神恭一	愛知学院大学	

(20) 経営学・商学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	鈴木典比古	国際基督教大学	
	大滝精一	東北大学	
	藤田幸男	愛知学院大学	

(21) 地域政策・人文学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	加藤祐三	横浜市立大学	
	赤塚雄三	東洋大学	
	中村紀一	筑波大学	

(22) 理学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	牟田泰三	広島大学	
	野崎昭弘	大妻女子大学	
	橋本弘信	東京工業大学	

(23) 工学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	坂田勝	拓殖大学	
	井上幸美	立命館大学	
	奥村次徳	東京都立大学	

(24) 材料科学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 〃	大西有三	京都大学	
	平尾公彦	東京大学	
	松尾孝	東京工業大学	

(25) 情報科学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	樋口 龍雄	東北大学	
〃	鈴木 孝雄	豊田工業大学	
〃	畑 朋延	金沢大学	

(26) 商船学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	板垣 浩	横浜国立大学	
〃	合田 正次	長崎大学	
〃	佐藤 治夫	東海大学	

(27) 農学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	松田 藤四郎	東京農業大学	
〃	伊東 正	千葉大学	
〃	豊川 好司	弘前大学	

(28) 医学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐藤 登志郎	北里大学	
〃	布施 勝生	自治医科大学	
〃	馬 淵 宏	金沢大学	

(29) 看護学・保健医療学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐藤 剛	札幌医科大学	
〃	加倉 周一	北里大学	
〃	野口 美和子	千葉大学	

(30) 歯学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐川 寛典	大阪歯科大学	
〃	岡野 友宏	昭和大学	
〃	福田 博	北海道大学	

(31) 体育学系専門審査分科会

役名	氏名	所属	備考
----	----	----	----

主 査 員	永 田 靖 章	愛 知 教 育 大 学
委 員	北 森 義 明	順 天 堂 大 学
〃	渡 部 晴 行	愛 媛 大 学

(32) 家政学系専門審査分科会

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 員	森 田 潤 司	同 志 社 女 子 大 学	
委 員	高 阪 謙 次	梶 山 女 学 園 大 学	
〃	小 見 山 二 郎	実 践 女 子 大 学	

(33) 知識科学系専門審査分科会

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 員	白 井 克 彦	早 稲 田 大 学	
委 員	片 井 修	京 都 大 学	
〃	佐 々 木 雅 幸	立 命 館 大 学	

1 ② 相互評価委員会 (平成14年3月31日付 任期満了。)

役 名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	赤 岩 英 夫	群 馬 大 学	
副 委 員 長	佐 藤 登 志 郎	北 里 大 学	
委 員	石 渡 茂	国 際 基 督 教 大 学	
〃	稻 垣 康 善	名 古 屋 大 学	
〃	木 村 靖 二	東 京 大 学	
〃	小 西 砂 千 夫	関 西 学 院 大 学	
〃	佐 藤 東 洋 士	桜 美 林 大 学	
〃	生 和 秀 敏	広 島 大 学	
〃	多 胡 圭 一	大 阪 大 学	
〃	富 田 房 男	北 海 道 大 学	
〃	長 田 豊 臣	立 命 館 大 学	
〃	西 川 孝 夫	東 京 都 立 大 学	
〃	西 澤 孝 宗	青 山 学 院 大 学	
〃	藤 原 値 賀	大 阪 市 立 大 学	
〃	船 本 弘 毅	東 京 女 子 大 学	
〃	古 川 顯	京 都 大 学	
〃	光 澤 滋 朗	同 志 社 大 学	
〃	南 塚 信 吾	千 葉 大 学	
〃	山 崎 勝 男	早 稲 田 大 学	
〃	六 車 明	慶 應 義 塾 大 学	
幹 事	阿 遠 部 和 厚	北 海 道 大 学	
〃	藤 藤 美 光	千 葉 大 学	
〃	柴 忠 義	北 里 大 学	

〃	白井紘行	群馬大学	
〃	丹羽重博	日本大学	
〃	牧野暢男	日本女子大学	

以下の大学評価分科会並びに専門評価分科会は平成14年3月31日付で廃止。

(1) 大学評価分科会（第一群）

役名	氏名	所属	備考
主査委員	生和秀敏	広島大学	
〃	池田正澄	京都薬科大学	
〃	石渡茂善	国際基督教大学	
〃	稲垣康善	名古屋大学	

(2) 大学評価分科会（第二群）

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐藤東洋士	桜美林大学	
〃	磯野可一	千葉大学	
〃	西川孝夫	東京都立大学	
〃	藤原値賀人	大阪市立大学	

(3) 大学評価分科会（第三群）

役名	氏名	所属	備考
主査委員	富田房男	北海道大学	
〃	佐藤登志郎	北里大学	
〃	多胡圭一	大阪大学	
〃	六車明	慶應義塾大学	

(4) 大学評価分科会（第四群）

役名	氏名	所属	備考
主査委員	長田豊臣	立命館大学	
〃	小西砂千夫	関西学院大学	
〃	丹野正	弘前大学	
〃	光澤滋朗	同志社大学	

(5) 大学評価分科会（第五群）

役名	氏名	所属	備考
主査委員	船本弘毅	東京女子大学	
〃	赤岩英夫	群馬大学	

〃	西澤宗英	青山学院大学	
〃	吉沢英成	甲南大学	

(6) 大学評価分科会 (第六群)

役名	氏名	所属	備考
主査委員	南塚信吾	千葉大学	
〃	木村靖二	東京大学	
〃	古川顯	京都大学	
〃	山崎勝男	早稲田大学	

(7) 教養学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	兵藤 釗	埼玉大学	
〃	大槻 真	津田塾大学	
〃	奥川 義尚	京都外国語大学	
〃	長田 博	名古屋大学	

(8) 文学系第1 専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	木村靖二	東京大学	
〃	山内弘継	同志社大学	
〃	渡辺信二	立教大学	

(9) 文学系第2 専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	北原保雄	筑波大学	
〃	橋本隆夫	神戸大学	
〃	本田 治	立命館大学	

(10) 文学系第3 専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	後藤祥子	日本女子大学	
〃	赤池憲昭	愛知学院大学	
〃	丸山幸彦	徳島大学	

(11) 文学系第4専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	鈴木康司	中央大学	
	出淵敬子	日本女子大学	
	吉田謙二	同志社大学	

(12) 仏教学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	中井真孝	佛教大学	
	竹村牧男	筑波大学	
	神子上恵生	龍谷大学	

(13) 外国語学・人文学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	ウィリアム・カリー	上智大学	
	有元將剛	南山大学	
	酒井 府	獨協大学	

(14) 外国語学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	原田園子	神戸女学院大学	
	植田渥雄	桜美林大学	
	真田信治	大阪大学	

(15) 国際学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	横川 新	成城大学	
	大沼 雅彦	英知大学	
	百瀬 宏	広島市立大学	

(16) 国際学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査 委員 〃	志村尚子	津田塾大学	
	潮木守一	武蔵野女子大学	
	若杉隆平	横浜国立大学	

(17) 文化学・人文学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	丹野正	弘前大学	
	塩崎弘明	長崎純心大学	
	渡瀬信之	東海大学	

(18) 社会科学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	多胡圭一	大阪大学	
	村本孜	成城大学	
	山内惟介	中央大学	

(19) 社会学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	柳井道夫	成蹊大学	
	河村能夫	龍谷大学	
	細井洋子	東洋大学	

(20) 人間学・社会福祉学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	山崎勝男	早稲田大学	
	副田あけみ	東京都立大学	
	松溪憲雄	龍谷大学	

(21) 社会福祉学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	里見賢治	大阪府立大学	
	冷水豊	上智大学	
	松井二郎	北星学園大学	

(22) 法学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員 "	永田眞三郎	関西大学	
	野村豊弘	学習院大学	
	山下威士	新潟大学	

(23) 法学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	市川 太一	広島修道大学	
〃	関 俊彦	東北大学	
〃	竹 下 賢	関西大学	

(24) 法学系第3専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	西澤 宗英	青山学院大学	
〃	新藤 宗幸	立教大学	
〃	内藤 俊彦	新潟大学	

(25) 法学系第4専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	中村 睦男	北海道大学	
〃	岡本 博志	北九州市立大学	
〃	納谷 廣美	明治大学	

(26) 経済学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	小西 砂千夫	関西学院大学	
〃	柴垣 和夫	武蔵大学	
〃	服部 容教	大阪市立大学	

(27) 経済学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	古川 顯	京都大学	
〃	池宮 城秀正	明治大学	
〃	今 喜典	青森公立大学	

(28) 経済学系第3専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	吉沢 英成	甲南大学	
〃	江夏 由樹	一橋大学	
〃	戸田 博之	神戸学院大学	

(29) 経済学系第4専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	石渡 茂	国際基督教大学	
〃	貝山 道博	埼玉大学	
〃	廣田 功	東京大学	

(30) 経営学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	光澤 滋朗	同志社大学	
〃	山倉 健嗣	横浜国立大学	
〃	吉原 正彦	青森公立大学	

(31) 経営学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	小川 英次	中京大学	
〃	丑山 優	九州大学	
〃	東海 幹夫	青山学院大学	

(32) 商学・経営学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	栗田 健	明治大学	
〃	一瀬 益夫	東京経済大学	
〃	安室 憲一	神戸商科大学	

(33) 理学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	児玉 隆夫	大阪市立大学	
〃	伊藤 正之	名古屋大学	
〃	瀬川 幸一	上智大学	

(34) 情報科学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	藤原 値賀人	大阪市立大学	
〃	赤池 正巳	東京理科大学	
〃	斎藤 信男	慶應義塾大学	

(35) 工学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	西川孝夫	東京都立大学	
〃	赤池志郎	神奈川工科大学	
〃	安藤信好	武蔵工業大学	

(36) 工学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	稲垣康善	名古屋大学	
〃	大熊武司	神奈川大学	
〃	川島一彦	東京工業大学	

(37) 獣医学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	林良博	東京大学	
〃	酒井健夫	日本大学	
〃	藤田正一	北海道大学	

(38) 医学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	磯野可一	千葉大学	
〃	石川紘一	日本大学	
〃	森松稔	久留米大学	

(39) 医学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	佐藤登志郎	北里大学	
〃	布施勝生	自治医科大学	
〃	馬淵宏	金沢大学	

(40) 薬学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査委員	池田正澄	京都薬科大学	
〃	長坂達夫	東京薬科大学	
〃	平野和行	岐阜薬科大学	

(41) 保健学・看護系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査	南 裕子	兵庫県立看護大学	
委員	佐藤 健次	東京医科歯科大学	
〃	中島 紀恵子	北海道医療大学	

(42) スポーツ科学系専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査	永田 靖章	愛知教育大学	
委員	北森 義明	順天堂大学	
〃	渡部 晴行	愛媛大学	

(43) 環境学系第1専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査	高倉 直	長崎大学	
委員	田中 努	中央大学	
〃	野澤 秀樹	九州大学	

(44) 環境学系第2専門評価分科会

役名	氏名	所属	備考
主査	六車 明	慶應義塾大学	
委員	青山 勳	岡山大学	
〃	川村 匡由	武蔵野女子大学	

2 ① 基準委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	瀬 在 幸 安	日 本 大 学	
副委員長	小 間 篤	東 京 大 学	
委員	浅 野 幸 一 郎	関 西 大 学	
〃	有 本 卓	立 命 館 大 学	
〃	池 田 輝 政	名 古 屋 大 学	
〃	岩 崎 庸 男	筑 波 大 学	
〃	江 原 武 一	京 都 大 学	
〃	岡 野 昌 雄	国 際 基 督 教 大 学	
〃	金 子 征 史	法 政 大 学	
〃	坂 卷 浩 清	東 北 大 学	
〃	讚 井 浩 平	上 智 大 学	
〃	白 井 克 彦	早 稲 田 大 学	
〃	多 賀 谷 一 照	千 葉 大 学	
〃	納 谷 廣 美	明 治 大 学	
〃	野 澤 秀 樹	九 州 大 学	
〃	藤 田 正 一	北 海 道 大 学	
〃	古 屋 一 仁	東 京 工 業 大 学	
〃	茂 里 一 紘	広 島 大 学	
〃	薬 師 寺 泰 蔵	慶 應 義 塾 大 学	
〃	山 内 惟 介	中 央 大 学	
幹 事	新 田 義 彦	日 本 大 学	

② 獣医学教育研究委員会 (平成14年3月31日付で廃止。○印は小委員会委員)

役名	氏名	所属	備考
委員長	○光 岡 知 足	元 東 京 大 学	小委員会委員長
副委員長	○林 良 博	東 京 大 学	
委員	植 村 興	大 阪 府 立 大 学	
〃	大 橋 秀 法	元 岐 阜 大 学	
〃	○唐 木 英 明	東 京 大 学	
〃	○酒 井 健 夫	日 本 大 学	
〃	品 川 森 一	帯 広 畜 産 大 学	
〃	○鈴 木 直 義	元 帯 広 畜 産 大 学	
〃	立 山 善 晋	宮 崎 大 学	
〃	内 藤 善 久	岩 手 大 学	
〃	原 田 悦 守	鳥 取 大 学	
〃	前 出 吉 光	北 海 道 大 学	
〃	○山 根 義 久	東 京 農 工 大 学	
幹 事	○赤 堀 文 昭	麻 布 大 学	小委員会幹事

③ 大学通信教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	清 成 忠 男	法 政 大 学	
委員	江 澤 郁 子	日 本 女 子 大 学	
〃	白 井 克 彦	早 稲 田 大 学	
〃	宮 本 晃	日 本 大 学	
〃	薬 師 寺 泰 蔵	慶 應 義 塾 大 学	
〃	山 内 惟 介	中 央 大 学	
委員兼幹事	中 野 榮 夫	法 政 大 学	

澤登寛聡 委員兼幹事（法政大学）は本年度中に委員兼幹事を退任。

④ 保健学系教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	瀬 在 幸 安	日 本 大 学	
委員	佐 藤 健 次	東 京 医 科 歯 科 大 学	
〃	深 井 小 久 子	川 崎 医 療 福 祉 大 学	
〃	丸 山 知 子	札 幌 医 科 大 学	
〃	丸 山 仁 司	国 際 医 療 福 祉 大 学	
〃	山 本 洋 一	鈴 鹿 医 療 科 学 大 学	
〃	渡 辺 敏	北 里 大 学	
委員兼幹事	小 川 節 郎	日 本 大 学	

⑤ 工学系研究科基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
担当理事	黒 田 壽 二	金 沢 工 業 大 学	
委員長	古 川 勇 二	東 京 都 立 大 学	
委員	有 本 卓	立 命 館 大 学	
〃	岡 崎 正 規	東 京 農 工 大 学	
〃	川 島 一 彦	東 京 工 業 大 学	
〃	岸 浪 建 史	北 海 道 大 学	
〃	小 林 猛	名 古 屋 大 学	
〃	重 村 力	神 戸 大 学	
〃	篠 田 庄 司	中 央 大 学	
〃	谷 下 一 夫	慶 應 義 塾 大 学	
〃	豊 田 国 昭	北 海 道 工 業 大 学	

〃	樋口龍雄	東北大学	
〃	平岡節郎	名古屋工業大学	
〃	平尾公彦	東京大学	
〃	深澤塔一	金沢工業大学	
〃	山川宏夫	早稲田大学	
委員兼幹事	井上晴夫	東京都立大学	

⑥ 農学系教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
担当理事	栗田健	明治大学	
委員長	林良博	東京大学	
委員	秋葉征夫	東北大学	
〃	石井実	大阪府立大学	
〃	宇都宮直樹	近畿大学	
〃	河野英一	日本大学	
〃	木場洋次郎	愛媛大学	
〃	駒村正治	東京農業大学	
〃	島秀典	鹿児島大学	
〃	白石友紀	岡山大学	
〃	服部重昭	名古屋大学	
〃	針谷敏夫	明治大学	
〃	三島徳三	北海道大学	
〃	村瀬安英	九州大学	
〃	矢沢進	京都大学	
幹事	古在豊樹	千葉大学	

原田康夫 元担当理事（元広島大学）、並びに荒川正昭 前担当理事（元新潟大学）は本年度中に担当理事を退任。

⑦ 看護学教育研究委員会

役名	氏名	所属	備考
担当理事	磯野可一	千葉大学	
委員長	平山朝子	岐阜県立看護大学	
委員	石垣和子	千葉大学	
〃	中西睦子	神戸市看護大学	
〃	野口美和子	千葉大学	
〃	樋口康子	日本赤十字看護大学	
〃	菱沼典子	聖路加看護大学	
委員兼幹事	金川克子	石川県立看護大学	

⑧ 経済学系教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	八田英二	同志社大学	
委員	姉川知史	慶應義塾大学	
〃	天野雅敏	神戸大学	
〃	岸本哲也	神戸大学	
〃	佐藤光	大阪市立大学	
〃	土井教之	関西学院大学	
〃	廣川みどり	法政大学	
〃	深尾京司	一橋大学	
〃	牧野富夫	日本大学	
〃	宮川努	学習院大学	
〃	山崎福寿	上智大学	
〃	吉田文和	北海道大学	
委員兼幹事	大野節夫	同志社大学	

⑨ 情報学系教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	永田眞三郎	関西大学	
委員	斎藤信男	慶應義塾大学	
〃	辻正重	青山学院大学	
〃	戸田光彦	新潟大学	
〃	新田義彦	日本大学	
〃	八田武志	名古屋大学	
〃	横井英夫	愛知学院大学	
委員兼幹事	黒葛裕之	関西大学	

⑩ 医学系教育基準検討委員会

役名	氏名	所属	備考
委員長	佐藤登志郎	北里大学	
委員	阿部和厚	北海道大学	
〃	加藤治文	東京医科大学	
〃	北島政樹	慶應義塾大学	
〃	神津忠彦	東京女子医科大学	
〃	小宮義璋	群馬大学	
〃	佐藤達夫	東京医科歯科大学	
〃	田邊政裕	千葉大学	

〃	中 川 滋 木	日 本 大 学
〃	福 井 次 矢	京 都 大 学
委員兼幹事	岡 本 牧 人	北 里 大 学

3 ① 本協会のあり方検討委員会

役 名	氏 名	所 属	備 考
委員 長	大 南 正 瑛	京 都 橘 女 子 大 学	
副委員 長	大 清 成 忠 男	法 政 大 学	
委 員	奥 島 孝 康	早 稲 田 大 学	
〃	北 原 保 雄	筑 波 大 学	
〃	小 出 忠 孝	愛 知 学 院 大 学	
〃	児 玉 隆 夫	大 阪 市 立 大 学	
〃	志 村 尚 子	津 田 塾 大 学	
〃	丹 保 憲 仁	放 送 大 学	
〃	戸 田 修 三	元 中 央 大 学	
〃	鳥 居 泰 彦	元 慶 應 義 塾 大 学	
〃	長 尾 稔	京 都 大 学	
〃	松 尾 稔	名 古 屋 大 学	

② 本協会のあり方検討委員会小委員会 (◎印は本委員会委員)

役 名	氏 名	所 属	備 考
委員 長	◎ 清 成 忠 男	法 政 大 学	
委 員	赤 岩 英 夫	群 馬 大 学	
〃	阿 部 和 厚	北 海 道 大 学	
〃	荒 川 正 昭	元 新 潟 大 学	
〃	有 本 章	広 島 大 学	
〃	岩 瀬 悉 有	関 西 学 院 大 学	
〃	大 西 有 三	京 都 大 学	
〃	大 橋 秀 雄	工 学 院 大 学	
〃	小 口 泰 平	芝 浦 工 業 大 学	
〃	上 村 洸 吉	東 京 理 科 大 学	
〃	絹 川 正 吉	国 際 基 督 教 大 学	
〃	栗 田 健 孝	明 治 大 学	
〃	◎ 小 出 忠 孝	愛 知 学 院 大 学	
〃	◎ 児 玉 隆 夫	大 阪 市 立 大 学	
〃	瀬 在 幸 安	日 本 大 学	
〃	野 村 稔	早 稲 田 大 学	
〃	外 間 寛	中 央 大 学	
〃	光 岡 知 足	元 東 京 大 学	

〃	山 本 眞 一	筑 波 大 学	
---	---------	---------	--

③ 評価項目・評価指標検討分科会

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 委 員	栗 田 健 有 本 章	明 治 大 学 広 島 大 学	
〃	岩 瀬 悉 有	関 西 学 院 大 学	
〃	大 西 有 三	京 都 大 学	
〃	上 村 洸	東 京 理 科 大 学	
〃	山 本 眞 一	筑 波 大 学	

④ 評価組織体制・プロセス等検討分科会

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 委 員	外 間 寛 赤 岩 英 夫	中 央 大 学 群 馬 大 学	
〃	阿 部 和 厚	北 海 道 大 学	
〃	小 口 泰 平	芝 浦 工 業 大 学	
〃	絹 川 正 吉	国 際 基 督 教 大 学	
〃	野 村 稔	早 稲 田 大 学	

⑤ 組織・機構、財政検討分科会

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 委 員	清 成 忠 男 荒 川 正 昭	法 政 大 学 元 新 潟 大 学	
〃	小 出 忠 孝	愛 知 学 院 大 学	
〃	児 玉 隆 夫	大 阪 市 立 大 学	
〃	瀬 在 幸 安	日 本 大 学	

4 年史編纂室

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査 委 員	寺 崎 昌 男 古 屋 野 素 材	桜 美 林 大 学 明 治 大 学	

〃	田 中 征 男	和 光 大 学	
〃	前 田 一 男	立 教 大 学	

5 ① 広報委員会

役 名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	小 出 忠 孝	愛 知 学 院 大 学	
委 員	植 田 康 夫	上 智 大 学	
〃	奥 村 次 徳	東 京 都 立 大 学	
〃	黒 田 千 秋	東 京 工 業 大 学	
〃	谷 口 晋 吉	一 橋 大 学	
〃	平 林 千 牧	法 政 大 学	

瀬岡吉彦（関東学院大学）、大石準一 委員（関西大学）は本年度中に委員を退任。

② 『大学評価研究』編集委員会

役 名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	志 村 尚 子	津 田 塾 大 学	
委 員	赤 岩 英 夫	群 馬 大 学	
〃	大 谷 隆 一	京 都 大 学	
〃	國 岡 昭 夫	元 青 山 学 院 大 学	
〃	中 村 睦 男	北 海 道 大 学	
〃	早 田 幸 政	大 学 基 準 協 会	
幹 事	澤 田 進	大 学 基 準 協 会	

大南正瑛 委員（京都橘女子大学）、土橋信男 委員（元北星学園大学）、三宅恭二 幹事（元大学基準協会）は本年度中に委員を退任。

③ 刊行物編纂委員会（平成13年10月25日付で廃止。）

役 名	氏 名	所 属	備 考
委 員 長	岡 田 晃	金 沢 経 済 大 学	
委 員	小 出 忠 孝	愛 知 学 院 大 学	
〃	三 宅 恭 二	大 学 基 準 協 会	
〃	前 田 早 苗	大 学 基 準 協 会	
〃	早 田 幸 政	大 学 基 準 協 会	
〃	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会	

6 大学基準協会のコンピューターネットワーク

システムの整備に関するワーキンググループ

（平成13年6月29日付で廃止。）

役 名	氏 名	所 属	備 考
主 査	大 南 正 瑛	京 都 橘 女 子 大 学	

委	員	小	出	忠	孝	愛	知	学	院	大	学
〃		三	宅	恭	二	大	学	基	準	協	会
〃		工	藤	龍	潤	大	学	基	準	協	会
〃		日	永		彦	大	学	基	準	協	会

平成13年度事業報告

はじめに

今日、わが国の大学には、高度の高等教育を提供し学術研究の中心機関としての基本的使命を果たすとともに、社会・経済構造、産業構造の複雑多様な変化に対応した人材育成機能強化などの要請に応じ、大学における教育研究とこれを支える組織構造について改革を進めていくことが強く求められている。

これからの大学は、大学自身の判断と責任において教育研究水準を向上させ、大学の社会に対する責任を履行するため、不断に自己の組織・活動を点検し評価することが求められている。のみならず、各大学の自己点検・評価の客観性・妥当性を担保するため、点検・評価結果に対する学外者による検証が要請されているほか、教育研究に公正な競争原理を導入することを目指し、国・公・私立という設置形態の区別なくわが国大学全体を対象に系統的な第三者評価システムの制度化が図られようとしている。

現在、国・自治体における行財政改革が急速に進行する中で、国の文教政策の一環として、資源の有効活用と組織・運営体制の能率性・効率性の視点から、国立大学の法人化が指向されている。こうした制度改変とも関連し、中央省庁再編のからみの中で、総務省の評価ラインにもつらなる文部科学省・国立大学法人評価委員会の設置が構想され、法人化後の「国立」大学の評価に着手することが目指されている。そうしたシステムの枠組みの中で、平成12年4月に発足した「大学評価・学位授与機構」については、各大学における教育研究の評価において重要な役割を果たす方途が模索されている。また、グローバリゼーションの進展に伴い、わが国大学およびそこに置かれる教育プログラムの質や国境を越えた通用性を高める上で、大学評価そのものの国際的通用力を向上させることの重要性も強く説かれている。

大学評価をめぐるそうした状況を背景に、平成13年度に、大学評価の責任主体でもある大学基準協会は、『大学評価マニュアル』に則り、前回までの大学評価の経験を活かし、第6回目の大学評価活動を行った。そして、前年度に引き続き、大学評価システムの円滑な運用の上で必要な諸条件の整備に向け、調査研究を行った。

また、大学評価のための協会独自の基準の系統的整備を視野に入れた基準の改定作業を進めた。

さらに、大学評価の領域にも競争的な環境・条件が醸成されつつある中で、大学基準協会は、より客観的で精度の高い第三者評価システムを具備する評価機関へと変容すべく、そのための組織・活動の全面的見直し作業を進めた。

以上の点を踏まえ、本事業報告において、以下に示す10の項目、即ち 1 本協会による大学評価、 2 基準の諸改定、 3 平成13年度の大学評価のための体制の確立、 4 大学、大学院等の評価に関する調査検討、 5 本協会の国際化への対応、 6 大学基準協会の50年史の執筆、編纂、 7 本協会に関する広報活動、 8 文部科学省の諸審議会等への

対応、 9 コンピュータ・ネットワークシステムの整備、 10 本協会の内部機構改革へ向けた取り組み、の諸項目を柱に、平成 13 年度に展開した協会活動を具体的に説明する。

1 本協会による大学評価

① 加盟判定審査

平成 13 年度の加盟判定審査は、判定委員会とその下に設置された 6 つの大学審査分科会と 27 の専門審査分科会によって行われた。

平成 13 年度加盟判定審査の申し込みのあった 19 大学について、判定委員会並びに各分科会における書類審査の後、評議員会、理事会の議を経て、次の大学がいずれも「大学基準」に適合するものと判定された。

(公立) 愛知県立大学

(公立) 茨城県立医療大学

(私立) 追手門学院大学

(私立) 大阪体育大学

(私立) 神奈川歯科大学

(私立) 岐阜聖徳学園大学

(国立) 京都教育大学

(国立) 神戸商船大学

(私立) 埼玉工業大学

(公立) 高崎経済大学

(私立) 東京国際大学

(私立) 豊橋創造大学

(公立) 長崎県立大学

(私立) 名古屋経済大学

(私立) 名古屋女子大学

(私立) 白 大 学

(私立) 文京女子大学

(国立) 北陸先端科学技術大学院大学

(国立) 山 形 大 学

計 19 大学 (大学名五十音順)

また、本年度においては、加盟判定審査を受けた大学に対し、審査・評価の透明性を確保する観点から、さらに各大学に提示した勧告・助言の内容をより明確化させる観点等から、当該大学の要請があれば、当該大学に関わる各分科会主査報告書を、分科会名、主査名および評定以外のすべてについて開示することとした。なお、開示する内容と手続については、相互評価委員会と連絡・調整を図った。

② 相互評価

平成 13 年度は、相互評価委員会とその下にある 6 つの大学評価分科会と 38 の専門評価分科会によって行われた。

平成 13 年度相互評価の申し込みのあった 18 大学について、提出された書類をもとに各分科会において慎重に評価を行うとともに、分科会での評価終了後、全 18 大学に対し実地視察を実施し、その結果もあわせ、相互評価委員会で総合的に評価を行った。

以上の評価結果については、評議員会、理事会の議を経て、次の大学がいずれも「大学基準」に適合するものとして、相互評価の認定が行われた。

(私立) 麻 布 大 学

(私立) 大 阪 工 業 大 学

(私立) 京 都 産 業 大 学

(私立) 杏 林 大 学

(私立) 恵 泉 女 学 園 大 学

(私立) 皇 學 館 大 学

(私立) 國 學 院 大 学

(私立) 国 際 基 督 教 大 学

(私立) 駒 澤 大 学

(私立) 大 正 大 学

(私立) 大 東 文 化 大 学

(私立) 獨協医科大学

(私立) 日本赤十字看護大学

(私立) 福岡大学

(私立) 法政大学

(私立) 明治学院大学

(私立) 明治薬科大学

(私立) 立正大学

計 18 大学 (大学名五十音順)

また、本年度においては、相互評価を受けた大学に対し、評価の透明性を確保する観点から、さらに各大学に提示した助言・勧告の内容をより明確化させる観点等から、当該大学の要請があれば、当該大学に関わる各分科会主査報告書を、分科会名、主査名および評定以外のすべてについて開示することとした。なお、開示する内容と手続については、判定委員会と連絡・調整を図った。

2 基準の諸改定

本年度における諸基準の改定のための検討は、主に「基準委員会」、「獣医学教育研究委員会」、「大学通信教育基準検討委員会」、「保健学系教育基準検討委員会」、「工学系研究科基準検討委員会」、「農学系教育基準検討委員会」、「看護学教育研究委員会」、「経済学系教育基準検討委員会」、「情報学系教育基準検討委員会」、「医学系教育基準検討委員会」によって行われてきた。

① 基準委員会

基準委員会は、平成 13 年度 6 回の委員会を開催した。

本年度は、昨年度に引き続き「専門分野別基準」の具体的改定作業を行うための専門分野の特定作業を行い、経済学系、情報学系、医学系の委員会設置を平成 13 年 10 月 25 日開催の第 392 回理事会に提言した。その結果、理事会は同日付けで医学系教育基準検討委員会、情報学系教育基準検討委員会、経済学系教育基準検討委員会の設置を承認した。

また、前期委員会で「学士課程基準」が設定されたことを受けて、今期は「修士・博士課程基準」の策定に着手した。同基準は平成 14 年度中の完成を予定している。

② 獣医学教育研究委員会

平成 9 年度以来、獣医学教育研究委員会において進めてきた「獣医学に関する大学院基準」の改定作業については、同委員会としての議論は平成 12 年度中に終了していた。

平成 13 年度における同基準改定に関わる動きとしては、基準委員会並びに理事会での

審議を経て、12月13日開催の第393回理事会において了承された。なお、理事会の意見を斟酌した修正を行うために獣医学教育研究委員会正副委員長打合会を1回開催した。

「獣医学に関する大学院基準」改定の完了に伴い、獣医学教育研究委員会は平成14年3月末日をもって廃止された。

③ 大学通信教育基準検討委員会

大学通信教育基準検討委員会は、基準委員会の提言に基づき、マルチメディアをはじめとする情報通信技術を活用した教育等を含む「遠隔教育 (distance education)」の概念を視野に入れ、現行の『大学通信教育基準』およびその解説を改定することを目的として、平成11年9月2日開催の第373回理事会にて承認を受けて設置された委員会である。平成13年度においては委員会としては開催されなかったが、昨年度に引き続き諸外国の「通信教育」や「遠隔教育」の現状とその質の維持方策に関する調査を継続して実施した。

④ 保健学系教育基準検討委員会

保健学系教育基準検討委員会は、平成13年度は1回の委員会を開催し、保健学系教育に関する基準の作成に向けて、引き続き検討作業を進めた。また、委員会としての最終案を取りまとめるべく、本協会正・賛助会員大学に向けて実施した「保健学系教育に関する基準」案に対するアンケートで示された意見をもとに、さらに検討を重ねた。

⑤ 工学系研究科基準検討委員会

工学系研究科基準検討委員会は、先に公にした「工学教育に関する基準」(平成12年7月)に引き続き、工学系研究科の基準を策定すべく設置されたもので、平成13年度においては、3回の委員会を開催した。同委員会では、各委員の大学院研究科の実情報告などを通じて、現状の認識や問題点の把握などに努めた上で、工学系研究科基準を作成する上での論点整理を行った。

⑥ 農学系教育基準検討委員会

近年の農学分野の発展と、それに伴う「農学教育に関する基準およびその実施方法」(昭和57年最終改訂)の陳腐化に対応するために、本協会では平成12年度に農学系教育基準検討委員会を設置し、ここで同基準の改定作業を進めることとなったが、本年度は地域や専門分野のバランスをとることに配慮して委員委嘱を行い、第1回目の委員会を開催した。そこでは、作業を進める上での留意事項について合意を得るとともに、モデルカリキュラム等を示すための専門分野の区分方法を検討するなど、基準改定の方向性について議論を行った。なお、改定にあたっては平成14年度中に成案を得るよう努力することとなっている。

⑦ 看護学教育研究委員会

看護学教育研究委員会では、わが国における看護学系大学・学部等の急速な増加や、大学教育に関わる新たな制度改正等を受けて、先に公表した「看護学教育に関する基準」(平成6年7月改定)、「看護学研究科分科教育基準」(平成9年2月改定)を見直すこととし、本年度においては3回にわたり委員会を開催した。また、併せて「21世紀の看護学教育」

(平成6年3月)、「看護学の大学院の基準設定に向けて」(平成8年7月)についても、上記基準同様、改定作業を行った。

看護学教育研究委員会は、上記2つの基準について委員会としての最終案を取りまとめ、その後基準委員会から意見を徴し、その意見に基づき必要な修正を行った。両基準については近く理事会に上程する予定となっている。

なお、本年度に設置された経済学系教育基準検討委員会、情報学系教育基準検討委員会、医学系教育基準検討委員会においては、各委員会委員長のもとで委員会委員の人選が行われた。次年度以降、委員会を開催して基準改定の方向性について議論を行い、平成14年度中に改定基準の成案を得るよう検討を進めていくこととなっている。

3 平成13年度の大学評価のための体制の確立

平成13年度は、まず4月に、本年度大学評価の申請を予定している大学を対象を絞った「大学評価実務説明会」を「大学評価セミナー」とは別個に実施し、本協会の大学評価への理解を深めてもらうとともに、申請手続の円滑化を図った。

6月には、判定委員会、相互評価委員会をそれぞれ開催し、平成13年度の組織体制の整備、分科会の運営等の方針を確認し、この方針に基づいて、両委員会の下に分科会を設置した。分科会における評価に先立ち、9月には、分科会委員を対象に評価者研修セミナーを、相互評価委員会、判定委員会それぞれ2回にわたり開催し、大学評価の趣旨とその具体的実施方法の周知を図った。なお、分科会における具体的な審査・評価は、10月から12月にかけて実施した。

また、本年度は、新システムの大学評価導入を控え、平成14年度の評価体制の整備も行った。

まず、6月には新システムの大学評価の説明を中心とした「大学評価セミナー」を全国4会場で開催した。各会場では国内外の大学評価に関する動向についての講演も行われた。

また、会員大学に対し、14年度以降の大学評価申請予定についてアンケートを実施し、14年度に申請予定の大学を対象とする「大学評価実務説明会」を10月に実施した。

このほか、前年度に引き続き、大学評価を受けることを予定もしくは検討している大学等からの希望に応じて、協会の役員もしくは事務局スタッフを派遣して、個別に大学評価に関わる説明会を実施した。

4 大学、大学院等の評価に関する調査検討

大学評価をめぐる昨今の情勢を背景に、大学基準協会は、「本協会のあり方検討委員会」と同「小委員会」並びに「小委員会」の下で、「大学評価の新たな地平を切り拓く(提言)」を具体的に実行に移すためのアクション・プランの策定に向け、従来の本協会のあり方検討委員会、同小委員会の改組を行い、そこで同プランの検討を行った。

「本協会のあり方検討委員会小委員会」の任務の機動的遂行のため、活動目的に応じ、

同「小委員会」委員を構成メンバーとする3つの分科会を設置した。それが、評価項目の基礎となっている基準や指標のあり方の調査研究を目的とした「評価項目・評価指標検討分科会」、大学評価の体制やプロセスの調査研究を目的とした「評価組織体制・プロセス等検討分科会」、大学基準協会の内部体制の改革と協会の財政強化等の検討を目的とした「組織・機構、財政検討分科会」の3分科会である。

「本協会のあり方検討委員会」に付託された審議事項は、今後の協会活動の抜本的見直しを迫るような重要事項である点に鑑み、同委員会と理事会の合同委員会として、「本協会のあり方検討委員会拡大委員会」を設け、そこで、適宜、必要事項についての審議を行った（「拡大委員会」は、「本協会のあり方検討委員会」および「理事会」の構成メンバーと同一である）。

平成13年度においては、「本協会のあり方検討委員会小委員会」は4回、「評価項目・評価指標検討分科会」は2回、「評価組織体制・プロセス等検討分科会」は10回、「組織・機構、財政検討分科会」は3回（うち懇談会1回）、「本協会のあり方検討委員会拡大委員会」は1回、それぞれ開催した。

前年度の審議を踏まえ、平成13年5月、新たな主要点検・評価項目を中心に取りまとめた「新構想の大学評価に関するアクション・プラン（その1）—『大学評価の新たな地平を切り拓く（提言）』を受けて—」を公にした。この後、委員会での本格審議の過程において、相互評価の周期、大学評価の効力・効果、認定マークの使用法、大学基礎データ・フォーム、提出添付資料の種類、財政評価のあり方、異議申立手続、評価指標の明確化・明文化、協会の組織・機構の改革方策、協会の財政強化策など大学基準協会の大学評価システムとこれを支える協会の組織・機構の抜本的改革方策について広範かつ詳細な検討を行った。そして、その検討の成果の一部は「大学評価（加盟判定審査・相互評価）申請用 大学基礎データ（様式）」、「平成15年度以降の大学評価における提出資料一覧」として取りまとめ、これを公にした。

また、事務局レベルにおいて、前年度に引き続き大学評価そのものの有効性を高める上で必要と考えられる資料の収集や調査検討を実施した。

なお、事務局ベースで進めてきた米国・北中部地区基準協会の1900年代前半の教育評価の実践事例に関する文献調査にも一応の区切りが付き、現在、これを公的刊行物にすべくそのための準備作業を行っている。

5 本協会の国際化への対応

本協会では、昨年度から「大学評価セミナー」において海外から招聘した講師による講演を行うなど、海外における大学評価の現状の紹介に努めてきた。

近年、大学評価機関の大学評価の国際的通用力を高めることが必要となってきた状況を踏まえ、本協会の大学評価の国際的通用力を高めることを目指して、来年度、本協会主催の国際会議・国際シンポジウムを開催する事となった。

そこで、今年度は、訪米調査を行い、国際会議・国際シンポジウム開催のための準備を行った。また、この訪米調査では、アメリカのアクレディテーション団体の認証機関である高等教育機関基準認定協議会（CHEA）において、CHEAの活動とアメリカのアクレディテーションの現状について調査を行った。

また、平成14年4月に開催されるUNESCO高等教育センターからの要請により本協会の代表者が同センターの国際会議に出席し、日本におけるアクレディテーションの状況と本協会の活動について報告を行うための準備を進めた。

6 大学基準協会の50年史の執筆、編纂

本協会では、「年史編纂室」を中心に、50年史刊行に向けてその執筆作業を進めるとともに、資料編に掲載する資料の収集・整理を行ってきたが、近年、政府審議会から高等教育に関わる多くの提言がなされ、それに基づき必要な制度改正が行われたこと、また、本協会においても新構想の大学評価システムの確立に向けて種々検討を行いその成果を公にしてきたことなどから、こうした内容を包含すべく、本協会年史を50年史から55年史に変更することを決定した。

大学評価の重要性が指摘されている現在、本協会の歴史的経緯と存在意義等を社会に広く理解してもらうために、55年史の平成14年度内刊行を目指すこととし、本年度においては、非常勤研究員を採用しその執筆作業の促進を図った。

7 本協会に関する広報活動

本協会は、広報活動を通じて、協会の活動を内外の人々に紹介してきたが、協会の主要事業である大学評価活動をより多くの人々に理解してもらうため、「刊行物編纂委員会」、「広報委員会」などが中心となり、一層充実・強化した広報活動を展開した。

「刊行物編纂委員会」では、協会の大学評価システム改革に関わる前記「大学評価の新たな地平を切り拓く（提言）」の審議とそのとりまとめに関与した人々の論稿並びに「本協会のあり方検討委員会小委員会」が中心となって行った2種の「大学評価に関するアンケート調査」の分析結果に関する調査研究報告書をベースに、丹保憲仁・大南正瑛編『大学評価を読む』（第12巻）の刊行を企画した。なお、同選書は平成13年12月に刊行したが、今後、JUA選書刊行の審議については、手続を簡素化するために正副会長会議においてこれを行うこととし、平成13年10月25日開催の第392回理事会において刊行物編纂委員会の廃止並びに委員の解嘱を行った。

広報委員会は、平成13年度は『会報』第83号を刊行した。その他に、大学評価活動を会員大学の教職員に広く理解してもらうべく協会広報誌『じゅあ JUA』第27号、第28号を刊行した。さらに、平成8年度から12年度にわたる本協会の大学評価における評定（マーキング）の結果をまとめた臨時増刊号を刊行した。また、『平成13年度大学一覧』を編集刊行した。

「大学評価研究」編集委員会は、本年度においては1回開催し、「大学評価研究」第2号の企画を行うとともに、その編集作業を進めた。「大学評価研究」は近日中に刊行の予定である。

8 文部科学省の諸審議会等への対応

平成13年度は、大学評価・学位授与機構より「平成13年度および平成14年度に着手する大学評価事業実施基本計画（案）」（平成13年4月20日）、「自己評価実施要項（案）」（全学テーマ別評価「研究活動面における社会との連携及び協力」・「教養教育」（平成12年度着手継続分）、分野別教育評価「法学系」・「教育学系」・「工学系」（平成13年度着手分）、分野別研究評価「法学系」・「教育学系」・「工学系」（平成13年度着手分）並びに「平成13年度に着手する大学評価の内容・方法等について（案）」（平成13年11月）に関わる意見を聴取したい旨の要請がなされた。これに対し、理事会は、各役員の見解を聴取、集約の上、意見書を取りまとめ、同機構にこれを提出した。また、本年度においては同機構の「大学評価委員会専門委員」候補者並びに「大学設置・学校法人審議会委員（大学設置分科会）候補者」の推薦依頼を受けたが、それぞれ適任者を選考し、理事会の承認を得て各機関に委員の推薦を行った。

9 コンピュータ・ネットワークシステムの整備

協会の大学評価に関わるデータの蓄積、事務局の業務の効率化・合理化、さらにはインターネットを活用した国内外への情報発信を推進するために、平成9年度に設置された「大学基準協会のコンピューターネットワークシステムの整備に関するワーキンググループ」は、本協会のコンピューター・ネットワークシステムがほぼ順調に機能する状況となったので、本年6月29日開催の第389会理事会で廃止した。

なお、協会ホームページについては、正会員校、理事・監事名簿、刊行物一覧等の更新を行ったほか、大学評価結果（和文・英文）、協会広報誌『じゅあ』等の情報提供を行った。また、本協会のロゴマークが変更されたことに伴い、和文ホームページのデザイン変更を行うとともに、掲載内容の充実を図った。

10 本協会の内部組織改革へ向けた取り組み

本協会は、大学評価の一層の客観性・透明性の確保のための条件整備の一環として、本年度も引き続き、協会の内部組織改革を行った。

平成13年度は、前年度の検討を踏まえ、「高等教育研究部門」を「大学評価・研究部」と改称の上、同部門の業務を活動目的別に「審査・評価系」と「企画・調査研究系」の2つの系に大きく区分した上で、両系の指揮系統の整備を図った。

また本年度は、協会の評価プロセスの円滑な運用の確保に向け、大学評価申請予定の予備調査を行うとともに、審査・評価分科会の委員や幹事などを補佐する役割を担う若干名

の「特別大学評価員」の選考を行った。

なお、本年度も引き続き、理事会の諮問機関である「協会運営協議会」および「顧問会議」の創設問題について審議を行った。

※ 各委員会の名簿は次ページ以降に掲載した。